

## 塩田地域協議会会議録（第2回）

日 時 平成18年11月14日（火） 午後7時から9時

場 所 塩田公民館 2階ホール

出席委員 大口委員、岡村委員、工藤委員、小山委員、佐藤委員、塩入委員、竹内敬吾委員、竹内幸雄委員、中沢委員、西澤委員、林委員、平林委員、委員、林委員、南委員、峯村委員、宮入委員、宮沢委員、山極委員、若林悦郎委員、若林陽子委員（19名）

市側出席者 原沢自治振興課長、甲田塩田地域自治センター長、古川塩田地域自治センター庶務企画係長、倉島教育総務課教育施設整備担当係長

1 開 会（塩田地域自治センター長）

2 会長あいさつ（大口会長）

3 会議事項（進行：会長）

（委員）概ねの終了時間を決めておかないと、いつまでもだらだらと会議することになるが。

（会長）それでは2時間以内に終わらせる、9時前には終了したいと思っている。ご協力をお願いしたいと思います。

はじめにセンター長の方から皆さんにお知らせがあるということで。

（センター長）前回の会議の中で議事録について公開になるが、その発言者のお名前について事務局扱いにした経緯がある。市全体の協議会の関係あり、それぞれの委員さんに忌憚のないご意見をいただくということで、当面はご氏名は載せないという風に方針を出したので、ご了解いただきたい。

（会長）いまのとおり、とりあえずは委員名は出さないということで。

それから、前回、総合計画審議会委員の就任あいさつがありませんでしたので、佐藤委員の方からお願いします。

（佐藤委員からあいさつ・会議の状況について報告等）

(1) 新市建設計画（合併協議会策定）の概要について  
資料により自治振興課長説明

今後地域協議会の皆さんに総合計画の関係の諮問を予定しているが、地域まちづくり方針は、それぞれの地域ごとのもので12月中の第3回協議会で諮問予定。たたき台を示し、それを元に皆さんにご審議いただき、2月くらいまでに答申いただければと、そんなスケジュールでおりまして、次回には諮問させていただくのでよろしく願いいたします。

- (会長) ただ今説明あったが、多種多様にわたっている。これについてのご質問、意見等あればお出しいただきたい。いかがでしょうか。
- (委員) 上田市は長野県内でも一番外国人の方が多いが、その外国の方との交流とか関係のそういった記述とかはあるのでしょうか。外国の方を区別しないという根本精神があるのかどうか。文化習慣が違うことをどこかで考えていけないといけないと思うが、そういうことが盛り込まれているのかどうか。
- (事務局) ちょっとここですぐにお答えできないが、共生の仕組みも立ち上げていますし、大事な視点として総合計画の中には盛り込まれていく。36Pのところに記述がある。総合計画にも入る予定である。「文化の創造」、「快適な生活環境の実現」等の項目中に記載がある。
- (委員) 難しく困惑しているが、この塩田地域をどのようにするのが協議会のテーマだが、農業も有り、商業も有り、工業も有り、それぞれ整った地域。塩田町時代はどのような運用をしていたか、ということも一つの研究材料。財政的にも観ていくと非常に難しい問題。漠然としていて、具体的に課題を挙げて、それを検討していかないと難しい。建設計画に地域センターの整備していかないと書かれているが、調べてみると、丸子町の人口が24,000、職員が111名、真田町が11,553の人口で83名、武石が4,141で職員38名、塩田地区は20,969名で4人の職員しかいない。各センター間で、職員数等の格差が大きい。平等と分権ということだが、早急に地域センターを作って、職員も充実を図りながら、塩田地域の発展を考えていく、財政的に特例債もあるし、うまく活用しながら、そう考えます。
- (会長) 財政的を考えてやっていくかということもあったが、どうなのか。
- (事務局) 財政は総合計画の審議会ですべてあり、行財政部会で検討している。
- (委員) 応分な財政は運用できるのか、塩田地域センターで。これだけの予算くださいということではあるのか。
- (事務局) そういうことではなく、個々の事業は実施計画で位置付けて、市が事業を進めていくこととなる。実施計画を毎年見直ししながら具体的に進めていく。
- (委員) 分権型の権利、権限というものはあるのか。
- (事務局) 地域協議会において地域住民の声の反映していく、自治センターの今後の整備、センターのあり方も検討していく。意見を聞きながら進めていく。
- (会長) 具体的課題は次回、諮問で具体的なものが出てくるということでしょうか。
- (事務局) 具体的な地域の課題といったたたき台としての課題等は提示する。具体的なものを出す中のご議論いただく。
- (会長) 職員の充実、そういったものは協議会としてぶつけていって良いのか。
- (事務局) 協議会の任務に自ら意見を述べる権能があり、他の審議会と異なる点で、協議会として話し合っていていただいて提言とかは可能ということです。
- (会長) ほかにどうでしょうか。
- (委員) 的を絞らないと難しい。非常に矛盾している面があり、道路・バイパス整備によって、その反面別所線の問題もあり、また、バイパスを作ることによって商店街が全滅してしまうといったこともある。非常に簡単ではない

ということ。たたき台はある程度大きな目標だけをみていって、余り細かくやると今騒がせているタウンミーティングとかの状態になる。我々も十分気をつけていく必要がある。

(委員) 大局的に見て行く必要があると思う。ほかにいかがでしょう。

(委員) 協議会の正確は議会とは違うので、市会議員的な立場で質問や議論すべきでない。全市的な問題もあるが、協議会は諮問されたものについて、塩田を中心に考えて意見を出していけばよいのでは。たたき台について意見を出し合っただけ市で取り上げていただく、こういう形でいいのではないのでしょうか。

(事務局) 協議会の役目として対象地域についてのご意見をいただくのが基本。全市的という話があったが、50Pの旧上田市地域の方針についても、意見が出るようでしたら、付帯意見としてお願いしたいということも諮問として予定をしている。

(委員) 塩田地域づくりの方針についてもっといろんな意見を交換するような場が必要、こんな塩田にしたいとか、夢とか、もっと意見交換とかする時間があるといいんじゃないかと思っている。次回でもいいがそんな時間が必要では。

(事務局) フリートーク的な時間がほしいと思っている。今日は時間の制約がありますので、次回塩田地域の大筋の方向性といったものを出してそれを議論していただく、それ一本で次回は行いたい。それはできた段階で事前に送付させていただくので、見ていただいて、意見をまとめ、この協議会の中で協議いただきたいと思っているので、よろしくをお願いします。

## (2) 「塩田コミュニティセンター整備事業」の概要について(報告)

### 資料1により塩田地域自治センター長説明

(会長) これについては、10年位前から地域で取り組んでいる問題。

(委員) 振興会で既に設計作ってあり、それは市の方にも提示してある。が、なかなか財政的に厳しいということでそのままになっている。それを参考に、たたき台にしてやっていけばと思う。支所長にお聞きしたいが、見通しはどうか。

(事務局) 整備事業につきましては、今年度の実施計画の中に位置付けをしていきたいと思っている。

(委員) 以前ちょっと関わらせてもらったが、別所小学校の跡地の施設とバッチングしていた経過がある。

(会長) 中学校の改築問題もあり、塩田には大きなプロジェクトが多いが、地域協議会でも突っ込んだ話合いをして、方針としては地域自治センターを作っていく、特に塩田の場合は、しっかりいい形で原案を作っていければと思います。この件についていかがでしょう。

(委員) もともと青写真は既にできている。

(委員) 今のお話を聞きして、公民館が80%占めるのは仕方ないとして、残り20%の中にセンターとか全て入るのか心配。分権型ということで行くならば、セ

ンター機能の充実が必要。

- (会長) しっかり原案を協議会で考えていきたい。ほかに。
- (委員) 例えば塩田コミュニティセンター建築推進委員会とか名前を付けてやってきたことがあると思うが、この協議会の中で捉えて、塩田地区をどういうふうにするかの一つとして、行政に反映するという考えでよいのか。
- (事務局) 現に進んでいるものについてはそういうものもある。これについては以前は委員会あったが今はないということで、この協議会にその役目を果たしていただきたいということで、折りにつけ、協内容的に協議いただき進めさせていただきたい。
- (委員) 次の議題の中学改築の件は、その件については今の説明のように進めてよいのかどうか。
- (事務局) 現に動いている委員会については、そっちを優先させていただきたいと思っている。内容的なものはこの協議会にご報告させていただきたい。
- (委員) 塩田中学の件は、PTAの方もいたり、学校の先生もいるので、この場でなく、当事者の別の組織でということで、この場では報告ということになるんでは。

(3) 「塩田中学校全面改築事業」設計コンセプトについて(報告)

資料により教育総務課教育施設整備担当係長説明

H18 基本設計、19 実施設計のスケジュールなら、H20 着工の予定となる。事業費は 35～40 億位の中で。

- (会長) この件は、改築検討委員会の中で検討を加えている。協議会には、そのたびごとに進捗状況をお話し、ご意見をもらっていきたい。この件は報告ということでさせていただく。

(4) その他

- (会長) 次回の会議の開催について、センター長の方から。
- (事務局) 次回は諮問があるということでご説明したが、日程が決まっておりませんので、申し訳ありませんが、その状況を見ながら事務局で設定させていただくのでお願いしたい。
- (会長) 確認ですが、時間帯は昼間が良いか、夜が良いか。
- (委員) 暖かいうちは夜でも良いが、寒い時期は安全面からも昼間の会議に切替えていただくのが良い。
- (会長) 皆さん、いかがでしょうか。
- (委員) 結構です。
- (会長) 冬期間は昼間の設定を組むということでお願いしたい。
- (委員) 状況を見ながらと言うお話だが、2月中に答申を欲しいということは、12月のうちには開催されるわけですか。
- (事務局) 12月のうちに開催したいと思っています。
- (委員) 会議の開催について、土・日開催はあるのか。
- (事務局) 基本的には、平日昼間で考えているが、委員さんの都合がどうしてもその日しかつかないということであれば、対応させていただきたい。

- (委員)  どんな諮問が出てくるかわからないが、会議の前にできるだけ早く検討の参考資料をいただきたい。
- (会長)  そのように事務局で考えていただき、できるだけ早くお送りするように致します。  
なければ、第2回の会議を終わらせていただく。大変ご苦労様でした。